

あやがわ

議会だより



2013

No. 27

平成25年1月22日

初詣（滝宮天満宮）

新年のごあいさつ	2 p
12月定例会のあらまし	3 p
4委員会報告	4～7 p
一般質問にいじめのない学校と社会づくり等で7人が質問 ..	8～11 p
平成23年度決算の審査・認定	12～13 p
傍聴記	14 p

新年のごあいさつ



綾川町議会議長
河野 雅 廣

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、すがすがしい新春をお迎

えのことと心からお喜び申し上げます。

日頃より町議会に對しまして、深いご理解

とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

未曾有の被害をもたらせ国民を震撼させた

先の東日本大震災において、被災された方々

に對し、一日も早い復興を町民の皆様ととも

にお祈りします。

本町においても、近未来に発生が予測され

る南海・東南海地震に備え、公助はもとより

自助・共助の精神の啓蒙啓発に努め、町民一

人ひとりの安全・安心の確保に繋げなければ

なりません。さらに新しいまちづくり事業と

して、ことぞん新駅整備により、県中西部の

交通結節点としての機能を果し、町民の利便

性向上はもとより、人口流入・定住化を図る

とともに少子高齢化対策の一助となることを

期待するものです。

最後になりましたが、本年も町民皆様方に

とりまして、幸多く、実りのある年でありま

すよう心からお祈り申し上げ新年のご挨拶と

いたします。

謹んで新年の

お慶びを

申し上げます

綾川町議会

議長 河野 雅廣

副議長 中西 一幸

議員 宮本 勝利

議員 安藤 利光

議員 石井 和義

議員 野中 邦夫

議員 村瀬 秀則

議員 碓石 眞己

議員 造田 節夫

議員 鈴木 義明

議員 田辺 健次

議員 松浦 正昭

議員 横井 薫

議員 福家利智子

議員 福家 功

議員 川崎 泰史



…12月定例会…

「おいでまい」生産者に

米選機の篩購入補助金800万円

一般会計補正予算など可決



12月定例会（12月14日）

12月定例会は12月14日から19日までの会期として開催した。

本会議初日は、「町長の専決処分事項の報告」「平成24年度一般会計・特別会計補正予算」など議案10件の説明があり、7議員による一般質問の後、提案された各議案を関係常任委員会に付託して散会した。

17日から18日までは、各常任委員会を開催し、付託された議案を慎重審議した。また、18日には学校等再編整備調査特別委員会も開催された。

19日、本会議を再開し常任委員会・特別委員会の審議内容を各委員長が報告、採決の結果すべての議案を原案どおり可決した。

9月議会で継続審議になっていた「平成23年度一般会計及び特別会計の決算認定」は、11月に開催した決算審査特別委員会の審査内容について委員長報告、採決の結果、賛成多数で可決承認して定例会を閉会した。

今回の傍聴は、羽床小学校6年生14名を含む23名であった。

※篩(ふるい)とは…米の粒状の大きさを選別する器具。

香川県では「げんご」と呼ばれている。

補正予算

◎一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額89億2300万円から、歳入歳出それぞれ2178万円を減額し、総額を89億122万円とした。

歳入の主なものは、地方交付税、国庫支出金、繰越金の増額、繰入金などの減額。

歳出の主なものは、子ども手当制度改正に伴う扶助費の予算振り替え、土地改良事業における工事請負費及び補助金、負担金の増額、人事異動による人件費の減額、土木費の下水道事業特別会計繰出金などの減額。

◎特別会計補正予算

・国民健康保険

保険給付費、一般被保険者療養給付費及び償還金、過年度分超過交付金返還金などの増額により、総額を30億2538万1000円。

・介護保険

介護保険事業財政調整基金積立金、償還金などにより、総額24億9040万6000円。

・墓園事業

精華墓地造成工事請負費の増額により、総額2962万4000円。

・下水道事業

下水道事業施設整備費などの減額により、総額4億8033万5000円。

・水道事業

受託工事費で460万円を増額し、水道事業費用5億5446万7000円。



眞鍋由美子氏
(49歳) 新任
綾川町羽床下1754番地1

人権擁護委員の推薦同意

委員の任期(平成25年3月31日)満了に伴い、同氏の推薦に同意した。

…委員会報告…

総務委員会

12/17

専決処分について

一般会計補正予算について、総選挙に要する執行経費で、衆議院が解散となり、議会に諮る時間がなく緊急を要したので、専決処分を行い、議会の承認を求めるものである。

平成24年度一般会計補正予算について

今回の人件費の補正は、全費目における過不足を補正したものである。

歳出は、人件費のほか交通結節機能強化事業費では、業務内容の変更及び財源振替。広報管理運営費では、防災行政無線個別受信機の購入費。消防費の災害対策管理費では、自主防災組織に、備蓄食糧を追加購入するためである。

を購入するものである。

歳入では、地方交付税、また、交通結節機能強化計画策定(新駅設置の効果を最大限活かすための事業計画)に対する補助金の増額、財政調整基金繰入金の減額。

教育費県補助金では、小児生活習慣病対策として血液検査に要する費用に対する補助金、との説明があった。

減額補正している。

報告

デマンド運行の乗降場所については、地元からの要望を聞き、変更等を行いながら運行した。6月から11月までの利用状況は、枋所線で921便、1164名、西分線で682便、767名の利用があり、稼働率については、便数、乗車率ともに増加している。

問 給食調理員、代替給食調理員の配置の考え方

答 給食調理員の配置数については、100食に対し1名の配置を基本としている。代替給食調理員は5名の登録者が、給食調理員の病欠などの際に学校・保育所で従事している。

問 財政調整基金繰入金の内訳は。

答 財政調整基金は、収入財源の調整を行っており、今回、地方交付税、繰越金等の収入増により、

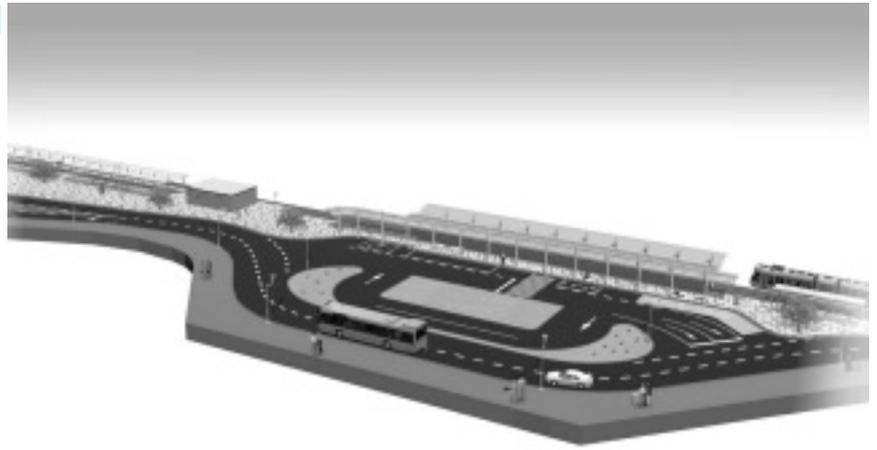
昭和小学校の腐葉土については、年度内に処分を行う考えである。

スクールバスの運行について、委託業者より、次年度の契約を行わない旨の申出があり、正式文書での提出を依頼している。



新しく綾上第1分団に導入された消防ポンプ車

法人町民税の高額還付が発生したことによる町税還付金の増額である。小学校管理運営費で、3学期より昭和小学校へ学校生活指導員1名を増員するため、送迎バス運行管理費で、バスへの車載カメラ等の設置、滝宮小学校へ臨時給食調理員1名を増員するために要する経費、陶小学校、滝宮小学校のガス回転釜



ことでん琴平線新駅 完成イメージ図

極的にコミュニケーションを図ってもらいたい。

総務委員協議会

11/30

ことでん新駅整備について、完成イメージと計画平面に基づき説明があり、来年度、都市計画マスタープランをたて、周辺の町づくりの方向性を示していくと説明があった。

要望

駅前だけではなく、全町的に発展を波及させていく考えは、また、今後の乱開発を抑えるためにも、マスタープランを整備し、町の権限の下、開発できるようなものにしてほしい。

報告

● スクールバスの事故について平成24年度末でスクールバス運行の委託契約が終了するため、今後は、貸し切りバス事業車、青ナンバーの方向で考えていきたい。

要望

西分地区の地域振興について、町からも積

校舎のリース契約の発注を予定している。

問 町税の返還金の還付年数を延長する話があったが、その後どうなったのか。

答 他市・町に照会し、検討している。年度途中のため、4月1日実施で検討している。

厚生委員会

12/17

綾川町一般廃棄物処理施設技術管理者の資格基準に関する条例を制定

法律の一部改正により、町条例で技術管理者の資格基準を制定するもの。

綾川町介護老人保健施設事業の設置に関する条例の一部を改正

介護報酬の改定に伴い、短期入所者の食費を細分化するものである。

朝食	340円
昼食	590円
夕食	570円



陶病院

問 対象者は。

答 食費の細分化はショートステイを利用する人が対象となる。

陶病院の業務状況

問 病床利用率が9割を下回ると、経営に影響があるのでは。

答 昨年同期に対し、入院及び外来延べ患者数共に、5%程度の減少となっているが、平均在院日数が短くなったことが影響したが、現在は9割を越えており、改善の方向にある。

問 介護ボランティアの申込者数は。

答 現在、107名の申込みがあり、ボランティア活動している。

問 三豊市・観音寺市の両市に、自ら処理することをその後要望したのか。また、最終処分場の建設は。

答 三豊市はトンネルコンポスト方式での処理を行う方針で、場所選定を行っており、工期も必要であるため、その間は本町にある企業にお願いし

問 東かがわ市・まんのう町で行っている土曜日授業を実施する考えはないか。

答 児童・生徒と教員が向き合える時間を確保することが大切であり、教員の配置状況から、直ちに町で土曜日授業を行う考えはない。近隣市町においてもその実施につい

問 旧陶病院の解体工事の実施設計は。

答 実施設計は、既に完了している。

たいとのこと。また、観音寺市は独自に溶融炉の場所を選定しているが、非常に用地が難しいので、その間は本町の企業にお願いしたいとのことである。町は、両市に対して早い時期に独自に処理して欲しい旨、要望している。

問 資源ごみの売却代金を自治会に還元しては。

答 分別をすることで、貴重な資源がリサイクルされて、私たちの生活に再度役立っている。還元については今後の検討課題としていく。

厚生委員協議会 11/13

平成24年10月に、昭和南・北保育所の保護者を対象に、新保育所に関するアンケート調査を実施した。

回収率は、昭和南保育所が94・7%、昭和北保育所が80%であった。

問 アンケート内容は。

答 次年度の入所希望保

育所と、新保育所への要望である。

平成25年度入所希望は、0歳児から5歳児の合計で、昭和南保育所へは63名（昭和南保育所から45名、昭和北保育所から18名）である。

既存の昭和北保育所には、昭和北保育所から41名。また、昭和地区以外の保育所は、昭和南保育所から3名、昭和北保育所から3名の合計6名。

未決定が5名の結果となっている。

要望は、新保育所への子どもの移行の仕方、保育体制であった。

町がアンケートを実施した同時期に昭和北保育所保護者会が、昭和地区保育所の運営について独自のアンケートを行い、町に提出された。内容は、昭和北保育所の保育サービス、新保育所への子どもの移行である。



(仮称)昭和保育所の立会検査で使用する機材の説明を受ける

問 アンケートの回収率が高い。保護者の声には十分応えるように。また、入所について納得いく説明を。

答 年度途中の入所で不安もあるが、過去にもこのような経緯があることから、なお一層、保育士などで十分対応していく。

要望 新保育所の運営内容は、保護者の要望を全て聞くのは難しいが、極力町として、意を尽くすように。

厚生委員協議会 12/4

綾川町国民健康保険羽床診療所の12月から医師体制

●十枝医師が診察に行く場合、午前は十枝医師、午後は陶病院の川上医師
●十枝医師が診察に行かない場合、午前は陶病院の坂東医師、午後は陶病院の川上医師が診察を行う。

要望 早急な医師確保を。

昭和地区保育所整備事業建築工事現地立会

●生コンクリート試験練り (10/17)
●基礎生コンクリート打ち (11/7)

●基礎配筋検査 (11/13)
●鉄骨検査 (12/4)

問 昭和地区保育所の進捗状況は。

答 11月末で、建築本体は29%、機械設備9.1%、電気工事で2.4%、全体で21・9%である。

建設経済委員会 12/18

一般会計補正予算

●人農地プランを作成した羽床上東地区の出し手に対する経営転換協力金の補正。

●「おいでまい」販売力向上促進における米選機かまいの購入助成の補正。

●震災対策農業水利施設整備等の追加予算などによる。

●うどん会館の外壁改修工事の増額補正。

●道路照明等修繕件数の増加に伴う修繕料の増額補正。



問 道路照明灯の蛍光灯からLED照明に替わるタイミングは。

答 新規の設置と蛍光灯が切れた時点でLED化にしている。

問 農地集積協力金の補助については、どのようなものを使うのか。

答 人農地プランに位置付けられた羽床上東地区において、地域の中心的な3経営体へ10年間農地を貸付けることによって、離農することへのきつかけとなる助成であり、貸し手農家への助成である。

問 篩補助手続きに県税の完納証明書を添付することになっているが、本人がしなければならぬのか。町で一括して出来ないか。

答 申請者本人の完納証明であるので、本人又は家族が行く必要がある。小額補助金であるが、県税・町税の完納証明書の添付は必須である。

下水道事業特別会計補正予算

計画停電に伴う自家発電機の賃借料に係る補正などである。

水道事業会計補正予算

庁舎玄関前の交差点及び町道の歩道部の改良に伴い、配水管及び消火栓の移設等及び新規引き込み管の水量確保のため、現況給水管を増径するなどの受託工事費。

● 上川原水源地の取水ポンプ（水中ポンプ）の更新を行う。

● 羽床第1水源地の次亜塩素酸ソーダ用ポンプの予備ポンプを設置するため。

（株）綾南プラザ

4月から11月までの経営状況について、道の駅「滝宮」・綾川町うどん会館入場者、売上高概算実績表、損益計算書に基づき説明があった。

問 売上金額の減少に伴う、経営改善策は。

答 2ヵ月毎に運営委員会を開催して、経営改善等について協議し、経常経費の削減等の対応をしたい。

要望

道の駅は休憩所として利用するドライバーもいるので、高速道路を下りた車が見やすい場所に、道の駅の看板を設置してほしい。

問 ハザードマップの住民への周知は、いつ頃なのか。

答 予定は1月中には水利関係者、2月中に自治会長や業者等に対しての説明会で公表したい。

問 住宅地図の更新は。

答 あくまでも町商工会の主導で行うもので、町はそれに対して助成をすることにしている。

問 今後の新駅整備と周辺整備で住宅の確保等、人口減少に対する施策は。

答 人を集める活動の見直し、若者の意見を取り入れた運動も視野に入れ、人口増加に向けた施策を検討する。

建設経済委員協議会 12/5

ため池ハザードマップの内容について委託業者（株）パスコから説明

貯水量10万t以上の大規模ため池で、町内13カ所の内、滝宮地区にある4池（大羽茂池、新池、山下池、大池）について作成した。

問 避難場所は公共機関のみで、イオン等大型商業施設等も避難場所として検討しては。

答 今後検討していく。

問 今後の地元説明会の開催、ハザードマップの全戸配布及び完成時期は。

答 浸水想定区域の自治会長、水利組合、学校関係者、病院等対象に説明会を開催し、その後、対象区域内の全世帯へ配布

する予定である。

粉所南部（新名）地区水道施設整備

● 送配水施設を扶桑建設工業（株）四国本店と締結。
● 送水管敷設工事を桑島開発（株）と締結。

南かざし団地排水管路調査

調査対象戸数326戸の内、321戸調査。調査項目は、排水設備として宅地排水の状況、公共下水道の本管と宅地への取付管状況を、TVカメラなどによる調査を行った。

問 流量が多いのは、なぜだったのか。

答 最下流にマンホールポンプを設置し圧送している。雨天の際、異常に動いていることから判明した。

問 修繕費用は、個人と町負担はどこで区別しているのか。

答 宅地内排水設備は個人。宅地内排水設備と本



道の駅「滝宮」・うどん会館

管の接続部分の取付管は町が行う予定である。

学校等再編整備 調査特別委員会 12/18

中学校工事

報告

●綾上中学校大規模改造工事は、去る12月10日に竣工した。

●綾南中学校改築は、仮設校舎の発注を近々で行う予定である。

県より復興予算の前倒しでの国庫補助申請の要請があり、建築基準単価などに優位性があることから、3月補正で対応しその全額を翌年度に繰越したい。

問 復興予算がこの事業に適用されるのか。また、基準単価に加算される額は、どの程度か。
答 県より復興予算の前倒しであるとの説明を受けているが、政権交代で今後の状況が変わる場合があるかも知れない。また、基準単価の具体的な

加算額は示されていない。

問 綾南中学校の工事期間中、学習環境や部活動の活動場所の確保、既存校舎や仮設校舎の耐震性は。
答 学習環境の確保は、空調機等の設置などで対応し、部活動については、それぞれ町総合運動公園施設やその他公共施設を借受けるよう調整を行っている。仮設校舎の耐震性については、建築確認を要する建物であり、一定の安全性は確保されると考えるが、既存の校舎は耐震性に劣る。いずれの施設も学校運営の中で防災意識の向上に努めたい。

問 仮設校舎には、何年生が入る予定か。
答 学校協議においては3年生が入る予定としているが、最終的に決定したものではない。

昭和地区保育所整備 報告 (仮称) 昭和保育



建築中の(仮称) 昭和保育所

所の開所に向け、10月に綾川町及び昭和北保護者が行った結果について。(仮称) 昭和保育所への移行の仕方、保育体制等についての要望事項を町として取り入れられるものは取り入れていく。しかし全ての要望に応えることはできないとの説明を保護者に行った。名称募集に107件の応募があり、今後、選考委員会に諮る予定である。

問 (仮称) 昭和保育所の募集で、9月議会での説明内容との変更点は何か。
答 (仮称) 昭和保育所の入所希望者の平成25年度4月当初での入所先を昭和南保育所と昭和北保育所とし、また、入所申込の受付場所を昭和南保育所と昭和北保育所及び役場健康福祉課とした。

問 昭和北保育所の保護者との話し合いは。説明は、1年くらい前に行うことが必要だと思うかどうか。また、保護者のアンケートの中には、町の提案に対する反対意見もあったと思うがその対応はどう考えているのか。
答 平成24年9月に昭和南保育所・昭和北保育所の保護者への説明会を実施し、その後、アンケート調査、昭和北保育所保護者会の役員との意見交換、12月9日には、再度、昭和北保育所の保護者説明会を実施した。昭和北保育所の保護者説明会では、11名の参加があった。反対意見はあったものの多数は建設的な意見であり、説明を行う中で大半の方にはご理解を頂いたと思う。また、保護者・

地域に対する説明は、議会との協議の関係もあるが、極力早めに行うよう努力する。また、反対意見に対しては、綾川町の教育方針に基づき、子ども達や住民のための行政運営を説明していく。

問 (仮称) 昭和保育所の施設完成後に保護者等の見学会を考えているのか。また、保育士の確保は。
答 平成25年7月の開所までに子ども・保護者・地域の方々の施設見学の機会を検討したい。また、保育士についても平成25年度の入所希望者の取りまとめ次第、保育士数の調整をしていく。

問 保育所の跡地利用、地域活性化について、地域との意見交換も行っては。
答 地域の意見も伺い、議会とも協議しながら跡地の利用を検討し、活性化も町で協議する。

安藤 利光
議員

Q いじめのない学校と社会づくりを

A 「学校が楽しい」と感じられるように進めたい



問 いじめ自殺が各地で起き、多くの人が心を痛めている。深刻化する「いじめ」を止めることは、社会の切実な問題です。「いじめ」問題の課題は、目の前の「いじめ」から、かけがえのない命を守りぬくこと。また、

何故「いじめ」がここまで深刻になったのかを考え、原因をなくすことである。「いじめ」のない学校と社会づくりについての町の考えは。

問題行動について、未然防止に向け、定例校長会などで、教職員が一丸となって粘り強く指導をいただくように、各学校にお願いしている。また、支援に必要な児童生徒、担任などに対しては、中学校には県からスクール

カウンセラー、小学校に、スクールソーシャルワーカーや、養護教諭を中心としたケース会を行ったりするなど、組織的な体制作りが整えられている。子どもたちに問題行動を起こさないために、町内のすべての児童生徒が、

「学校が楽しい」と感じられ、「一人ひとりが活躍できる授業づくり」を心がけ、魅力ある学校づくりを進めていく。



笑顔いっぱいの小学生



高松市と地元博進との協定の調印

福家利智子
議員

Q 高松市一般廃棄物陶最終処分場第3処分地は

A 自然環境の保全に努力する



化に対応する具体的な施策は。

町長 土曜保育については、現在は半日だが、将来は一日保育ができるよう、運営方法について検討していきたい。保育料については、合併以来、料金改定を行っていないが、今後、幼保一体化に向け、1日保育、2時帰りといった内容の保育料形態を、検討していく。

問 将来に巨り、安心して快適な環境のもとで暮らせる居住周辺地域の整備と農業用地、池、水を守る立場からも、町の責

務は大きいものがある。地元博進と高松市が早期に基本協定を結ぶよう対応すべきと思っている。現在の進捗状況は。

協定書が締結。今後とも地域住民が健康で安心して暮らせる生活環境および自然環境の保全に努力していく。

問 町の将来を展望し、若者層に焦点をあて魅力ある町、特徴のある町、子育てに優しい町を積極的に推進することである。幼稚園の授業料を無料にし、さらに保育料を軽減することで、少子化対策に寄与するのは。少子

化今後、保育料形態を検討する



羽床下の大林地区

問 近年、異常気象などにより大型台風等、また集中的ゲリラ豪雨など頻発に発生している。羽床地区においても砂防三法に照らし合わせる

村瀬 秀則
議員

Q 地域の安心な暮らしを守るため香川県に要望していく

羽床地区山間部砂防対策は

地域の安心な暮らしを守るため香川県に要望していく



らの「受け身」の観光振興策ではなく、多くの民間企業も参画した真に官民一体となって、地域にしかない観光魅力の発掘の推進を図る。

町長 平成24年12月から年度末までの予定で、香川県中讃土木事務所が綾川町全域を対象に、被害を受けるおそれのある場所について現地調査を実施する様になっている。

問 とき、対策が必要と思えるが。

地域の安全・安心な暮らしを守るため、今後香川県に要望していく。

Q ETCを利用した周遊観光についての考えは

A 観光魅力の発掘の推進を図る

問 以前、高速道路で好評だった土・日1000円効果は本町にも様々な経済効果をもたらした。今後の恒久的な観光支援施策についての考えは。

町長 綾川町の観光振興はまず「観光まちづくり」からであり、従来か



府中湖スマートICの標識

鈴木 義明
議員

Q 今後「わたり」の対応は

A 廃止と適正化を図る



り」の廃止と適正化を図る。

問 職員給与を決定するにあたり、「わたり」という制度があることが総務省のホームページで公表されている。これは、職務にあつていない格付けがされ、給与が支払われることで、香川県下で1市1町の団体がある中、

1町が綾川町である。綾川町職員の中で、合っていない職務は、「主査」が課長補佐と同じ級に格付けがされている。地方公務員法の職務級の原則に反するもので、結果として人件費を上げることになっているのでは。現

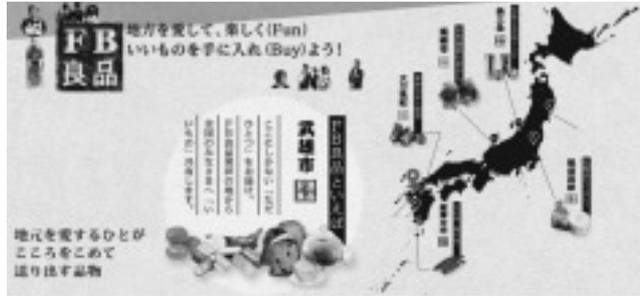
在の経済情勢なども考えると、町民としては、理解できないが、町は「わたり」について今後どうするのか、また町長の考えは。

町長 合併による旧町職員間、並びに男女格差があるとして、是正を求

める組合要求・交渉により、調査によって差異がある職員は調整を行う。「わたり」の運用は職務級の原則に反することになっており、国・県からも適正化が求められている。現在の社会経済、雇用情勢の下、民間企業における実績重視の賃金制度実態と大きく乖離するもので、費用負担者である町民の理解は得がたい。現在、職員組合と交渉を行っている。平成25年には、職務や実態を踏まえた職制の整理など「わたり」



執務風景



通信販売の表紙ページ (F & B 良品)

問 佐賀県武雄市がフェイスブック上でF&B良品と言うサービスを開始した。町ホームページとSNSの連携効果を発揮させ、生産者を自治体が後押しをすることは地域活性化策の大本命であると考えて

町長 フェイスブックは地方公共団体が開設している例も見受けられ、有効な情報発信ツールの一つ。販売促進については他の自治体の動向を参考に、調査・研究したい。

問 乳幼児保育のニーズを全て受け入れるのは、財政的に難しくなるので

町長 保育所では、保育・教育を行っている。保育

が該当。保育における財政データの資料提出は行いたい。財政状況は厳しいと予測されるが、公設公営の保育所運営、子育て支援を進めたい。

川崎 泰史 議員

行政によるSNSを活用した通販参入は他の動向を参考に調査・研究する



所に通っていない乳幼児も、えがお等を中心に援助している。子育て支援策は、病時保育・乳児保育・一時保育・土曜保育の充実

問 新駅は、綾川町地域公共交通会議で、検討された計画案を示して頂きたい。さらに、パーク&ライド駐車場設置及び、府中湖スマートインターを利用した、遠距離高速バスなど、住民の要望が多くある為、ぜひ取り組

町長 綾川町交通結節機能強化計画では①バス、タクシー、一般の送迎車輻などの乗降場を設置、パークアンドライド駐車場の確保、駐輪場の整備②高松築港駅から滝宮駅までの15分間隔運行の拡

町長 綾川町交通結節機能強化計画では①バス、タクシー、一般の送迎車輻などの乗降場を設置、パークアンドライド駐車場の確保、駐輪場の整備②高松築港駅

大と終電の延長③新駅を起終点とする坂出駅などと接続する幹線バス路線の導入、高松空港連絡バス琴平線の新駅への乗り入れ④町営バスの再編⑤快適な歩行環境の整備⑥地域と連携した新駅の利用促進の実施。高速バス

乗入れは、地域、利用者の声が最も効果があり、事業者にアピールしていただきたい。総合案内板の設置は、望ましい形を検討し、必要な表示を行う。駅舎周辺の植栽については、農業経営高校と協議を行う。生涯学習センターから新駅までの町道の新設は、新まちづくり構想、都市計画マスタープランとして取りまとめたい。



ことでん新駅の予定地

田辺 健次 議員

ことでん新駅の設置は都市計画マスタープランでインフラ整備する



薫
議員

横井

Q 公用車に青色回転灯を装備しては

A 町としては登録車両に問題ない



ているのか。現在の町道1路線で地区住民の安全を守るのか。

肩部分の舗装面の着色で視覚的に分離することができ、交通安全上有効な「ひとつ」と思われる。また、将来の交通安全対策に、今後も一層努力する。

問 6月定例会でも一般質問したが、香川県のど真ん中、あらゆる事故のない住みよい町として、脱着式青色回転灯装備車の走る綾川町を発信してはどうか。防犯啓発・交通事故防止に公用車を活かせるのであれば、職員

も公務員としての責任感を持ち、安全運転を心がけるのでは。また、費用対効果は抜群と思うが。

町長 公務中の巡回を青色回転灯装備車輛として公安委員会が認めていただけるのであれば町と

しても職員にパトロール実施講習を受講させ、全公用車を青色回転灯装備車として登録することに問題はない。今後、一層安全・安心のまちづくりに取り組んでいく。

問 現在建設中の昭和地区保育所が平成25年に開所予定だが、交通安全対策、災害対策、特に近年の集中豪雨対策と、個々の対策をどのように考えるか。

町長 今のところ、避難所に直結するバイパスは考えていない。しかし、安全性が保てず、問題がある箇所については関係地権者のご理解とご協力を得れば、待避所的な道路の局部改良での対応も考えられる。昭和校区周辺の交通安全対策、また、災害対策としての道路整備は「研究課題」としたい。歩道の着色については、歩道がない箇所は路



歩道のない通学路

ほかにもこんな質問がありました

安全な運行管理体制

問 10月17日に起きたスクールバスの転落事故は、当日下校に伴い新名地区まで児童を送り、帰りに発生した。町は再発防止に向け、安全な運行管理体制が必要であるがどのようになっているのか。

答 スクールバスの事故は、多くの方に心配をかけ、誠に申し訳なく思っ

ている。児童に怪我が無かったことが不幸中の幸いでした。

教育委員会は、小学校PTAが行ったアンケートを基に、保護者説明会を開催した結果、運転手の高齢と安全運転に対する要望があり、次期契約時には、運転免許証の写し、経歴証明書の提出、運行バスに「タコグラフ」などの設置を行う。

また、教育委員会、学校、3路線の代表者などで会を設けて、安全確保に努める。

安全・安心な水道水を

問 平成24年1月に、丸亀綾川浄水場横の河川表流水から、1,4ジオキサンを検出したと県に報告があった。その後の対策は。

答 対策としては、事業者は雨水が汚水に流入されない工事、汚水を受ける柵の設置、1,4ジオキサンを分解処理する機械を導入などを行った。来年度から環境省の許可が得られれば、微量のPCB処理が稼働になる。

その際、周辺に流出していないか、町はPCB検査を行うよう協議している。

水道水は、ほとんど検出されないまでに回復している。毎月水質管理し、住民の安全安心を計る。

小中学校の英語教育

問 高校に入学し英語の授業になると、授業開始から終わりまで全てが英語教育になっていると聞く。英語をマスターしていないと授業についていけないと聞くが、現状

はどうか。

答 小学校では、担任とALT、日本人の非常勤講師により授業をしている。中学校はALTとのTT授業などを導入し、聞く、話すなどの技能を育成する授業に取り組んでいる。その結果、中学校3年生の英語力は、全国レベルに達している。今後、指導助言したい。

国民健康保険事業

問 町の国保加入者は約6500人前後加入し

ている。医療費で約3.5%増加している。県内でも一人当たりの医療費は上位である。町は運営改善計画策定を。

答 国保の加入者は、年金受給者や失業による収入の不安定な被保険者が多い。一方医療費は高齢者の増加などにより、年に3%~5%増えている。一人当たり医療費は県下で6番目である。保険税の見直しを検討する時期にきているので早急に対策をしたい。

び企業会計の決算を審査・認定

財政調整基金に5億円を積み立て

平成23年度の決算審査を行う、決算審査特別委員会（委員長 石井和義 他5名）は、11月22日、26日、27日の3日間開会し、慎重に審議した結果、一般会計および特別会計、企業会計の決算をいずれも認定した。

一般会計

歳入 101億6453万円
歳出 93億10万円
差引 8億6442万円
そのうち、5億円を財政調整基金に積み立て、残金のうち8732万円を翌年度に繰越した。

◎総務関係

防犯灯設置事業は。

問 L E Dで60カ所程を整備。街路灯も同様にL E Dで整備。平成24年度から3年間で約150〜200の設置を考えている。

自主防災の組織率の低迷については。

問 新規に2組織が設立した。組織率は30%と低い。しかし自助共助の精神がある自治会であれば資機材を整備すれば、十分対応できる。資機材の譲渡または貸与があった自主防災組織には防災訓練の義務付けがある。設立に理解を得られない状況もあるが、今後も推進を図る。



光ファイバーで広がるサービス

光ファイバーの活用は。

問 2年で事業完了した。加入戸数は、本年4月末で9300世帯中3分の1以上の世帯が加入している。町内企業から高く評価されている。医療・福祉など多方面に利用できる。各課で検討している。

学校におけるいじめの現状と対策は。

問 平成23年度中、小中

学校のいじめは9件の報告があった。内容は、いじめに関するアンケートで判明したもの。現場で発見したもの。児童が母親に相談して判明したもの。保護者が本人の様子から担任に相談し発見したもの。上靴への落書きにより判明したものなどで、保護者や学校の協力を得て、いずれも解決した。

また、学校や保護者から、いじめの報告があれば、保護者へ連絡をしている。また、生徒指導連絡協議会を、年2回開催し、高松西警察署、少年育成センター、各学校が連携して協議すると共に、教頭や生徒指導担当、高

放課後児童クラブの時間延長は。

問 平成25年4月1日から制度の改正があり、子ども子育て新システムという新しい制度が発表するが、具体的な時間延長は未定である。また、法律改正で10歳未満という文言は削除され対象を拡大する方向にある。しかし、受け入れ施設の問題が残る。

町内所在の文化財のリストは。

問 文化財指定したものは一覧表がある。埋蔵に



決算審査特別委員会の様子

23年度 一般会計と特別会計及

については場所の控えがある。100周年を迎える主基斎田の資料は散逸している状態で調査している。これからは、支所の改善センターに集約したい。

◎厚生関係

問 河川の水質は。

答 大腸菌群が8月に基準値を超えた箇所があった。これは水量の減少や水流が途絶え、溜まり水状態になったものをサンプリングしたことで、大腸菌群が高い数値になったのだと推測している。

問 可燃ごみの減量化は。

答 平成18年3708t、平成19年4265t、平成20年4120t、平成21年3900t、平成22年4155tと推移している。今後、生ごみ処理機及び電動生ごみ処理機の普及促進に努めるため、PRについては検討していきたい。

問 産科医確保支援事業及び産科医については。



滝宮総合病院に産科診療を

得後の就業は。

答 町社会福祉協議会で実施している。平成23年度は、町内15名、町外7名で合計22名が受講している。受講後の就業実績は、町社協や老健あやがわ、陶病院の他、楽々苑などの町内の事業所への就業もある。

問 特定検診の受診率は。

答 平成23年度の受診率は53・2%。平成22年度と比較すると、受信者数は増加している。ただ、受診後、この検診結果を保健指導に結び付ける事が重要である。

問 MRI及び脳ドックの利用とPRについては。

答 MRIの利用総数は医療も含めて194件。脳ドックは、その内2割程度である。病院のホームページ等で引き続き利用を呼びかけたい。

問 国保保険料の滞納世帯数は。

答 総数で186件ある。

問 遠隔診断システムの年間の稼働件数は。

答 平成23年度中の実績は4件であった。

◎建設経済関係

問 合併浄化槽の法定検査の周知については。

答 町の広報誌及びホームページに掲載し、法定検査を受けるよう啓発している。

問 住宅耐震診断料が高いと聞いているが、どのくらいか。

答 認定農業者や、集落営農の従事者が高齢化しているが、この先の考えは。

問 補助対象の診断料の限度額が9万円であり、概ね範囲内であった。

答 補助対象の診断料の限度額が9万円であり、概ね範囲内であった。

問 有害鳥獣駆除奨励金の支出状況は。

答 イノシシの捕獲は1頭当たり1万円です。全体では114頭あった。また電気柵の補助も行っている。

問 認定農業者や、集落営農の従事者が高齢化しているが、この先の考えは。

答 認定農業者は、農業で生計を立てプロの農家を目指す。また、集落営農組織への農業機械支援を進める。



耐震改修工事

町議会を見学して



熱心に傍聴している羽床小学校の児童のみなさん



羽床小学校
六年 馬場詩央里

町議会は、町長さんの提案説明から始まりました。町長さんは出番が多く大変そうでした。それでも、綾川町のために仕事をがんばってくれています。この町がもっと良くなることを願っているのだと思います。

一般質問では、「いじめをなくすためにどのようなことが大切だと考えていますか。」や「英語の授業について、綾川町ではどのようにしていますか。」などがありました。わたし達子供のことについても、議会で話し合われていることが分かりました。

また、前に出て話す人が、大人なのに「～さん」ではなく「～君」と呼ばれているのは、学校みたいで面白いなあと思いました。

たくさんの議員さんが集まって町が良くなることをめざして話し合っていたので、自分にもできることを心がけてやっていきたいと思いました。



羽床小学校
六年 脇 湧也

町議会を傍聴して一番心に残ったのは、「いじめを解決できる学校に」という議題についてです。「なぜ、いじめが広がるのかを考える」ということが解決方法になる。」と、議員さんが言っていました。大人達が真剣に考えてくれているので、ぼく

達もいじめをなくす努力をしていかなければいけないと思いました。

二つ目は、「英語教育について」です。英語の授業は、去年と比べて三割増だと言っていました。小学校では、コミュニケーション能力を高めることも目的の一つだそうです。学校に来てくれているスティーブン先生と話をすることも、大切なことなんだと分かりました。

町の議員さんは、みんなの代表だということが分かったので、ぼくも二十才になったら、必ず選挙に行こうと思いました。

議会日誌

10月5日	議会広報委員会	9～10日	町村議会議員特別セミナー (滋賀県)	12月4日	30日	27日	決算審査特別委員会(建設経済関係 後期高齢者医療広域連合議会定例会 総務委員協議会)
17日	厚生委員協議会	11月6日	第53回四国地区町村議会 議長会研修会	5日	14日	29日	建設経済委員協議会
22日	総務委員協議会	7日	厚生委員協議会	17日	18日	14日	議会運営委員会 本会議
8～9日	市町村アカデミー開設	8～9日	市町村アカデミー開設	19日	18日	14日	建設経済常任委員会
13日	25周年記念特別セミナー(千葉県 厚生委員協議会)	14～15日	第56回町村議会議長全国大会 (東京都)	25日	19日	14日	建設経済常任委員会
22日	決算審査特別委員会(総務関係)	22日	決算審査特別委員会(厚生関係)	26日	25日	25日	綾川町立学校等再編整備調査特別委員会 本会議
26日	福岡県大牟田市議会行政視察来町 (きめ細やかなる・農地プランづくり) (C)	26日	福岡県大牟田市議会行政視察来町 (きめ細やかなる・農地プランづくり) (C)	H25年 1月3日	26日	25日	綾川町成人式
//日				13日	8日	8日	議会広報特別委員会
							綾川町消防団出初式

編集後記

読者の皆さん明けましておめでとうございます。昨年末は衆議院選挙があり、大変忙しい師走となりました。

投票率は県内で戦後ワースト2位の59・04%。綾川町では62・99%となり、大変低い結果となりました。皆さんに興味を持ってもらえるよう、さらに精進していこうと考えています。また、この議会だよりも、興味を持ってもらうための手段の一つですので、さらにわかりやすく、読んでいただける内容の編集を、委員一同心がけて参ります。

議会だよりのご愛読を今年もよろしくお願ひします。

議会広報編集委員会

- 委員長 安藤 利光
- 副委員長 福家利智子
- 委員 川崎 泰史
- 委員 福家 功
- 委員 横井 薫
- 委員 中西 一幸